

（研究成果の公表）

「新型コロナウイルス感染症の流行により、2020年4月から2021年12月までの期間で、自殺者が増加～自殺者の増加は若い世代や女性でより顕著～」

旭川医科大学社会医学講座 吉岡英治 准教授の研究グループは、北海道大学環境健康科学研究教育センターの Sharon Hanley 特任講師と共同で、2021年12月までの期間における、新型コロナウイルス感染症の流行が日本人の自殺率の推移に及ぼす影響を解析し、自殺率が増加したことを明らかにしました。そして特に、女性や若い世代で自殺者の増加は顕著でした。

この研究では、2020年4月から2021年12月までの期間をパンデミック期間として、この期間における自殺の過剰死亡の推定値を算出しました（過剰死亡とは、もしパンデミックがなければ起こらなかった可能性のある死亡者数を意味しています）。パンデミック期間の日本人の自殺者の総数は男性22304人、女性11836人でしたが、過剰死亡数は男性1208人、女性で1825人でした。性別年齢別の分析で、特に過剰死亡数が多かったのは、男性の20-29歳（自殺者数2740人、過剰死亡数466人）、40-49歳（3901人、423人）、女性の30-39歳（1277人、421人）、60-69歳（1538人、396人）、20-29歳（1469人、352人）でした。

この研究成果は、日本時間5月30日付で、学術雑誌 The Lancet Regional Health-Western Pacific に掲載されました。研究の詳細は2ページ以降をご覧ください。

【研究に関するお問合せ】

旭川医科大学社会医学講座公衆衛生学・疫学分野

准教授 吉岡 英治（よしおか えいじ）

TEL：0166-68-2402

E-mail：e-yoshi@asahikawa-med.ac.jp

【本プレスリリースに関するお問合せ】

旭川医科大学総務部総務課広報基金係

TEL：0166-68-2118

E-mail：kouhou@asahikawa-med.ac.jp

北海道大学社会共創部広報課広報・渉外担当

TEL：011-706-2610

E-mail：jp-press@general.hokudai.ac.jp

【発表の概要】

1. 研究の背景

新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、日本を含めたほぼ世界中の人々の日常生活や社会活動が大きく制限されています。そして、このようなパンデミックによる変化が人々のメンタルヘルスに大きな影響を与えており、その結果自殺者数が増加した可能性があります。これまで、日本におけるパンデミック期における自殺者の解析は2020年のデータを用いたものに限られていましたが、本研究では2021年12月までのデータを用いて、自殺率の推移を調べています。

2. 研究の成果

この研究では、厚生労働省自殺対策推進室が公表している自殺統計の月別自殺者数データ（暫定値）を用いています。そして、分割時系列解析（Interrupted time series analysis）という解析手法で、パンデミック前（2016年1月から2020年3月）とパンデミック発生後（2020年4月から2021年12月）における、自殺率の推移の変化を調べました。解析は、性別、年齢階級別を実施し、パンデミック期間における自殺の過剰死亡の推定値を算出しました（過剰死亡とは、もしパンデミックがなければ起こらなかった可能性のある死亡者数を意味しています）。

主要な解析結果は次ページの表で示しています。パンデミック期間中の自殺による過剰死亡数は、男性で1208人、女性で1825人と推定されました。年齢別の分析では、男性は20-29歳と40-49歳で、女性は20-29歳、30-39歳、60-69歳で特に過剰死亡が多くみられました。本研究の結果は、COVID-19のパンデミックは日本の自殺率に大きな影響を与え、その影響は女性と若い年齢層で最も顕著であることを示しています。

3. 社会的な意義

日本では、パンデミック発生以降、困窮した人々に対して政府などから様々な支援が行われました。しかしながら、こうした支援が本当に追い詰められた人々にはきちんと届いていない可能性があることを、この研究の結果は示していると考えています。今後、コロナ禍における自殺の調査をさらに進め、適切な支援のあり方などを提言してゆきたいと考えています。

表 2020年4月から2021年12月までの自殺者数、自殺の過剰死亡数の推定値、過剰死亡数の割合

	自殺者数	過剰死亡数*	割合#
男性			
全年齢	22304	1208	5.4%
20歳未満	744	34	4.6%
20から29歳	2740	466	17.0%
30から39歳	2891	76	2.6%
40から49歳	3901	423	10.8%
50から59歳	3769	66	1.8%
60から69歳	2790	-49	-1.8%
70から79歳	3068	94	3.1%
80歳以上	2330	163	7.0%
女性			
全年齢	11836	1825	15.4%
20歳未満	515	89	17.3%
20から29歳	1469	352	24.0%
30から39歳	1277	421	33.0%
40から49歳	1783	285	16.0%
50から59歳	1826	322	17.6%
60から69歳	1538	396	25.7%
70から79歳	1891	325	17.2%
80歳以上	1528	148	9.7%

*：もしパンデミックがなければ起こらなかった可能性のある死亡者数の推定値。

#：過剰死亡数を自殺者数で割った値。

【論文情報】 +

◇ 論文タイトル

Impact of the COVID-19 pandemic on suicide rates in Japan through December 2021: An interrupted time series analysis

◇ 掲載誌

The Lancet Regional Health — Western Pacific

◇ 論文種別

Original Research

◇ 著者

Eiji Yoshioka, Sharon J.B. Hanley, Yukihiro Sato, Yasuaki Saijo

◇ DOI 番号

<https://doi.org/10.1016/j.lanwpc.2022.100480>

◇ URL

[https://www.thelancet.com/journals/lanwpc/article/PIIS2666-6065\(22\)00095-5/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/lanwpc/article/PIIS2666-6065(22)00095-5/fulltext)